

- ◆主 催：NPO法人国際臨床保育研究所 (KICCC)
- ◆募集人数：30名
- ◆講座費用：82,000円 (講座代 78,000円とテキスト代 4,000円)
- ◆会 場：NPO 法人国際臨床保育研究所  
(大阪府大阪市天王寺区上本町 8 丁目 4-11 キムラビル 5F)
- ◆TEL: 06-6773-3348 FAX: 06-6773-3008
- ◆MAIL: info@kiccc.jp (メールでのお問い合わせも可能です。)



※講師の都合によりスケジュールに変更が生じる場合がございます。  
※連続講座のため、単独での受講や複数人数による交替での受講はしていただけません。

◆アクセスマップ



下記の申込書に必要事項をご記入の上、  
06-6773-3008 までFAXをお願いいたします。

受講者名： \_\_\_\_\_

勤務先： \_\_\_\_\_ 職務名 \_\_\_\_\_

住 所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

お申込み確認後、こちらより振込用紙をお送りしますのでご確認のうえお近くの郵便局にてご入金ください。

講座

Cito (旧オランダ王立教育評価機構)

ピラミッド・メソッド国際カリキュラム(オランダ Cito・ドイツ Cito・アメリカ Cito)による

特別支援保育者(チューター)養成 連続講座

Check! 講座修了者には Cito(シト)認定国際特別支援保育者(チューター)修了書が授与されます。

今、専門的な臨床保育者が求められています!

欧米先進諸国の幼児教育(保育園・幼稚園)における共通の悩みは、急激な発達障がい児の増加です。オランダCito開発のピラミッド・メソッドは発達障がい児支援保育者チューター(Tutor)の養成に力を注ぎ、今回ピラミッド・メソッド国際部長 Menno Boontje 来日のもとで講座開催の認可が下りました。日本の3歳児発達検診で「様子を見ましょう。(ネガティブな表現)」と判定される子どもが急増しています。これまで保育現場が経験してきた障がいのある子どもとは、異なった支援が必要な子どもたちです。検診で「様子を見ましょう。」といわれる“気になる子ども”の85%が「ことばおくれ」と報告されていますが、その大半が機能的な障がい(例えば難聴で聞こえにくい等)ではなく、原因は分からないがしゃべらない子どもたちです。それ故に、言語治療室等での1対1の訓練法だけではなく、日常の保育活動の中での取り組みの重要性が分かってきました。現場に相応した臨床的な知識と実技を身につけた専門性のある保育者が望まれています。

NPO 法人国際臨床保育研究所 所長 辻井 正



ミュンヘン機能的発達検査

**1** 6月30日(日)  
10:00~12:00

国際ピラミッド・メソッド  
の現場から

◆講師  
Cito ピラミッド・メソッド  
国際部長  
Menno Boontje

◆講座内容  
ピラミッド・メソッド国際普及にたずさわる Menno Boontje 部長から、ピラミッド・メソッドの基本理論とオランダ、ドイツ、アメリカの幼児教育状況を語っていただきます。(通訳有り)



13:00~16:00

ピラミッド・メソッドを支える  
ダイナミック(動的)心理学

◆講師  
NPO 法人国際臨床保育研究所 所長  
社会学博士 辻井 正

◆講座内容  
チューターとして是非とも学んでいただきたい、ピラミッド・メソッドを支えるダイナミック(動的)心理学理論の講義です。この理論で構築されるマルチプルインテリジェンス(MI)保育室での支援方法、更に具体的な MI 保育室の作り方(デザイン)の実習です。



**2** 7月28日(日)  
10:00~12:00

精神科に訪れる  
子どもたち

◆講師  
近畿大学医学部講師 (児童精神科専門医)  
医学博士 辻井 農亜

◆講座内容  
「専門病院で受診を。」と学校から勧められる“気になる子ども”が増えていきます。大学病院ではどのような診断と指導が行われているのかを、精神科医療の立場から講義していただきます。



13:00~16:00

ミュンヘン機能的発達検査法  
(保育室で行う遊びの発達検査法)

◆講師  
NPO 法人国際臨床保育研究所 所長  
社会学博士 辻井 正

◆講座内容  
保育室の気になる乳児が増えたというのが現場保育者の実感です。また、低体重児(2500g以下)の出産増加がメディアで報じられました。乳児期の発達上の問題点に早く気づいてあげて、支援する手立てとしての乳児保育技術がますます求められています。発達検査方法、具体的な支援方法(乳児エクスサイズ)を実習します。

※赤ちゃん人形をご持参ください



**3** 8月25日(日)  
10:00~12:00

ポートフォリオ評価法  
~テストによらない評価の方法~

◆講師  
NPO 法人国際臨床保育研究所 所長  
社会学博士 辻井 正

◆講座内容  
どんなに優れた幼児教育プログラムであっても、子どもを評価する基準を持たなければカリキュラムの展開はできません。しかし現在の評価法の大半はテスト(比べる評価)です。ピラミッド・メソッドでは子どもの作品から分析するポートフォリオ評価を行います。この評価法と標準テストの両面から子どもの成熟度を評価する方法を学んでいただきます。



13:00~16:00

ことばとからだ育て  
~からだ・ことば・リズム~

◆講師  
子ども情報研究センター  
からだ育て部会  
天野 忠雄

◆講座内容  
ことばの獲得はからだの動きと一体化しています。しばしばことばおくれの子どものからだ表現は、しなやかさに欠ける、人との接触を嫌う、激しく動いてはいるが複雑な動きができない等の問題を抱えています。具体的なからだことば、からだと心の関係を実践的な講義で学んでいただきます。



**4** 9月29日(日)  
10:00~12:00

保育者と子どもの  
愛着形成理論

◆講師  
NPO 法人国際臨床保育研究所 所長  
社会学博士 辻井 正

◆講座内容  
これまでの愛着論は「母性神話」を根拠に母子間の愛着形成が語られてきましたが、昨今は、保育室に長くいる子どもが増えるにつれて、母子関係だけでなく子どもの発達にも問題を生じています。従来の愛着論だけでは子どもの複雑な心理を把握することが困難になってきました。現在欧米では動的心理学を根拠に【保育者と子どもの愛着理論】が注目されています。新理論を学んでいただきます。

13:00~16:00

赤ちゃんの遊びの検査法と  
赤ちゃんマッサージの技法

◆講師  
NPO 法人国際臨床保育研究所 所長  
社会学博士 辻井 正  
おもちゃセラピスト 勝山 結夢

◆講座内容  
赤ちゃんマッサージ法を乳児室に導入し、ひっかきやかみつきが減ったという報告もあります。具体的なスキンシップ法として赤ちゃんマッサージの技法と遊びの発達検査法を、赤ちゃん人形を使い身につけていただきます。明日から、乳児保育室のプログラムとして導入してください。

※赤ちゃん人形をご持参ください



**5** 10月27日(日)  
10:00~12:00

でこぼことした  
発達の子も達

◆講師  
NPO 法人国際臨床保育研究所 所長  
社会学博士 辻井 正

◆講座内容  
発達障がい児や気になる子どもが増えてきましたが、一言で「発達障がい」と、まとめきれない様々な発達上の問題を抱えています。“でこぼことした発達”というイメージで具体的な発達上の問題点を学びながら現場の保育室での受け入れ方法を講義します。



13:00~16:00

羊毛を使った  
感覚遊びの実践

◆講師  
ほいくえん ももの家  
園長 西村 久容

◆講座内容  
羊毛は脂肪が含まれているために手のひらで紙のように薄くのばすことも、かたく丸めることもできます。手のひらと指先の感覚を使って人形や物語の事物の作り方も学びます。子どもの感覚とイメージが見事に刺激される上に、作品を保育室に飾ることで柔らかな雰囲気をかもし出します。



**6** 11月24日(日)  
10:00~12:00

感覚受容の  
不器用な子どもたち

◆講師  
NPO 法人国際臨床保育研究所 所長  
社会学博士 辻井 正

◆講座内容  
小学校に行くまでの基礎的スキル—楽しい幼児の感覚運動—  
「小1プロブレム」と呼ばれる子どもたちの行動の前兆は既に保育現場で見受けられます。じっと座ることができない、話を聞けない、キレる、等の問題は子どもの感覚受容と深く関わっています。特に脳の前庭系(三半規管)領域の未成熟さや過熟さが指摘されています。感覚運動理論と発達と発達上の問題点を講義します。

13:00~16:00

F.S.P (小学校に行くまでの  
感覚運動と基礎スキル)

◆講師  
NPO 法人国際臨床保育研究所  
ニュージーランド感覚運動コース修了者  
辻井 明

◆講座内容  
脳の前庭系(三半規管)と呼ばれる運動野の未熟さを、日常の保育の中で身につける感覚運動の実践を学ぶと共に、感覚受容の問題点を見つける検査方法も学んでいただきます。



※動きやすい服装でお越しください